

参議院を支える——その強き誇りと重き責務

衛視の職務

警務部には、警務課、警備第一課、警備第二課、警備第三課が置かれ、各課は相互に協力して、日夜、院内の秩序の保持のための職務に従事しています。

衛視の仕事は多岐にわたりますが、初任教養終了後は次のような職務に当たります。



立番



参観案内



夜勤



立 番

立番は、衛視の職務の基本となります。国会議事堂を出入りする者は、記章及び帯用証等を携行することが義務づけられており、衛視は、各出入口などで通行者の記章と帯用証等の確認を行い、不法侵入等の事犯を未然に防止し、院内の安全確保に努めています。

立番の配置区分は、各門及び各建物の出入口などの通常配置、特別警備配置、本会議配置、委員会配置、夜勤配置及び休日配置に分かれています。初任教養研修終了後、通常配置の立番勤務において様々な経験を積みながら、経験年数と階級に応じて、議員が活動する本会議場の勤務や、委員会の勤務に配置されるようになります。

立番は、規律ある厳正な勤務態度と状況に応じた迅速的確な判断が要求されるとともに、国内外を問わず国会を訪れる全ての方々に対して、親切丁寧な対応が求められます。

参観案内

参議院を訪れる参観者の数は、外国人も含め年間約27万人に上ります。参観案内は、国民に国会の仕組みや議事堂の歴史、特徴などについて分かりやすく説明し、国会について理解を深めてもらうことを目的としています。そのため、参観案内は、国会に関する幅広い知識だけでなく、常に国会情勢についても把握しておく必要があり、毎日が勉強の連続です。

参観に訪れる方々の中には、歩行が困難で介助を必要とする方や視覚・聴覚に障害のある方も多く訪れるため、必要な対応や手話などでの案内も行っており、立番同様、常に親切丁寧な対応を心がけることが求められます。



夜 勤

夜勤は、各出入口等での立番勤務を行うほか、議事堂構内参議院側の各建物の鍵の授受・施錠の確認、火気の点検、構内の巡視等を行います。

各建物には、大臣室や各府省の控室などがあり、深夜でも多くの国会関係者の出入りがあります。そのため、夜間であっても、昼間と同様に不測の事態には迅速的確に対応することが求められます。夜勤中には交替で仮眠を取ることができます。

開会式警備

開会式は、国会の会期の初めに天皇陛下をお迎えして参議院本会議場において行われます。開会式警備は、衛視の職務の中で最も重要な警備の一つであり、総動員体制で当たります。

衛視大点検・観閲式

国会の召集日及び開会式の朝には、衛視大点検が行われ、服装及び貸与品の点検と重要事項の伝達が行われます。

常会の召集日には、参議院議長による衛視観閲が行われ、議長から訓示を受けます。



交替制勤務サイクル例(8週間サイクル 1週平均の勤務時間は38時間45分)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
勤務形態	出	夜	非	週	出	出	週	週	出	夜	非	週	出	週	週	出	出	夜
	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日